

美郷がいちばん、すきです美郷

ふたし 議会だより



夢と感動をありがとう!

総合優勝した秋田県チーム

第13号

2007.10.15

9月定例会

まちづくりを認定	9月定例会概要	2
未納金の収納をどうする	主な質疑	4
3氏が登壇	一般質問	6
第2回「住民と議会との懇談会」を開催します		10
全国大会で入賞したい	キラリ美郷人	12

認定

総合計画 推進の まちづくりを



未納金に質疑が集中した本会議

9月定例会を、 9月4日から11日までの8日間の会期で開きました。審議した議案は、平成18年度一般会計決算認定案など17議案。そのすべてを、原案の通り認定・可決しました。一般質問は、3議員が町政をたどしました。

議 会に提出された一般会計の決算状況は、歳入126億14万3千円・歳出119億1千325万9千円で、差引残高6億8千688万4千円ですが、これに翌年度へ繰り越す財源1千852万9千円が含まれており、実質収支は6億6千835万5千円の黒字決算です。

しかし、経常収支比率は93・3%で、物件費などの削減により17年度決算の96・1%に比べ2・8ポイント改善された結果となりましたが、依然として適正なレベルとは言えない状況にあります。

また、公債費による財政負担の度合いを判断する指標の実質公債費比率は19・5%となり、今後、公債費負担の適正化に向

けた取り組みを行う必要があります。

国 民健康保険や下水道事業など5つの特別会計決算では、制度上、不足額を19年度予算から繰上充用補填した老人保健特別会計を除き、すべてが黒字決算となりました。

◆未納金総額1億9千200万円

認 定採決に先立って行われた総括質疑では、総額1億9千200万円となった町税や使用料の未納金に質疑が集中しました。その内訳は、一般会計での町民税1千694万3千円、固定資産税6千156万6千円、国民健康保険特別会計での保険税7千903万9千円などが主なものです。

議会では、これらの18年度一般会計・特別会計決算を、すべて全員賛成で認定しました。決算額の詳細は、下段の決算総括表をご参照ください。

◆議員定数の見直し協議始まる

そ の他、平成十九年度一般会計補正予算に歳入・歳出それぞれ3億6千965万円を追加し、補正後の予算総額を113億9千663万7千円としました。主な内容は、平成十八年度からの繰越金3億4千682万円、町道12路線の道路改良工事費3千550万円などです。

また、来年の4月1日から始まるごみの有料化にともない、処理手数料の額を新たに定めた条例を改正し、陳情3件を採択しました。

そして、9月定例会最終日行われた議会全員協議会の席上、一年後の結論を目前に『議員定数の見直し』協議を行うことを確認しました。

国体リハーサル大会の成果が結実した秋田わか杉国体



18年度実施した主な事業

- ◆国体リハーサル大会事業 5千611万1千円
- ◆成人・乳幼児健診事業 1億3万2千円
- ◆小中学校施設環境整備事業 1億7千339万1千円
- ◆夢プラン応援事業 8千790万4千円
- ◆畜産環境整備事業 3千183万3千円
- ◆都市公園整備事業 6千812万6千円
- ◆道路維持・新設改良事業 9億6千763万1千円

平成18年度各会計の収支決算総括表

区分	歳入決算	歳出決算	差引	認定の結果
一般会計	12,600,143	11,913,259	686,884	全員賛成
国民健康保険特別会計	2,476,303	2,188,984	287,319	全員賛成
老人保健特別会計	2,475,835	2,481,254	△5,419	全員賛成
簡易水道特別会計	450,512	436,990	13,522	全員賛成
下水道事業特別会計	375,509	367,966	7,543	全員賛成
農業集落排水特別会計	217,163	216,411	752	全員賛成
合計	18,595,465	17,604,864	990,601	全員賛成

未納金の収納をどうするか 徴収チームを結成する

十八年度一般会計決算認定

議員 町税や各利用料などの未納額の合計が1億9千200万となっているが、収納をどう進めるのか。

総務課長 総務課で、未納の状況を各課担当者から聞いている。今後、徴収チームを結成して徴収にあたりたい。

議員 差し押え、競売などの方法をとる市町村もある。美郷町ではどうするのか。

副町長 これまで法的措置のケースはなかったが、いずれは措置する方向で検討していく。

議員 税の申請減免の内容は適切か。
税務課長 納付しやすい方法を考えていきたい。

議員 固定資産税の納期の回数をもっと多くできないか。
税務課長 相談があれば分割した納付書を送っている。

議員 実質公債費比率が19.5%となっているが、今後の見通しは。
総務課長 予算編成に当たっては、プライマリーバランスを重視している。公債費の返済のピークは十八年度であり、今後、ポイントは下がっていく。

議員 保育園の延長保育、小学校の児童保育の待機者数は。また事業の拡充についての考えは。
幼児教育課長 保育園の待機者はいない。小学生については、同居している祖父母がいるなどの理由で断ったケースが7件ある。拡充は10月にアンケート調査をして検討していく。

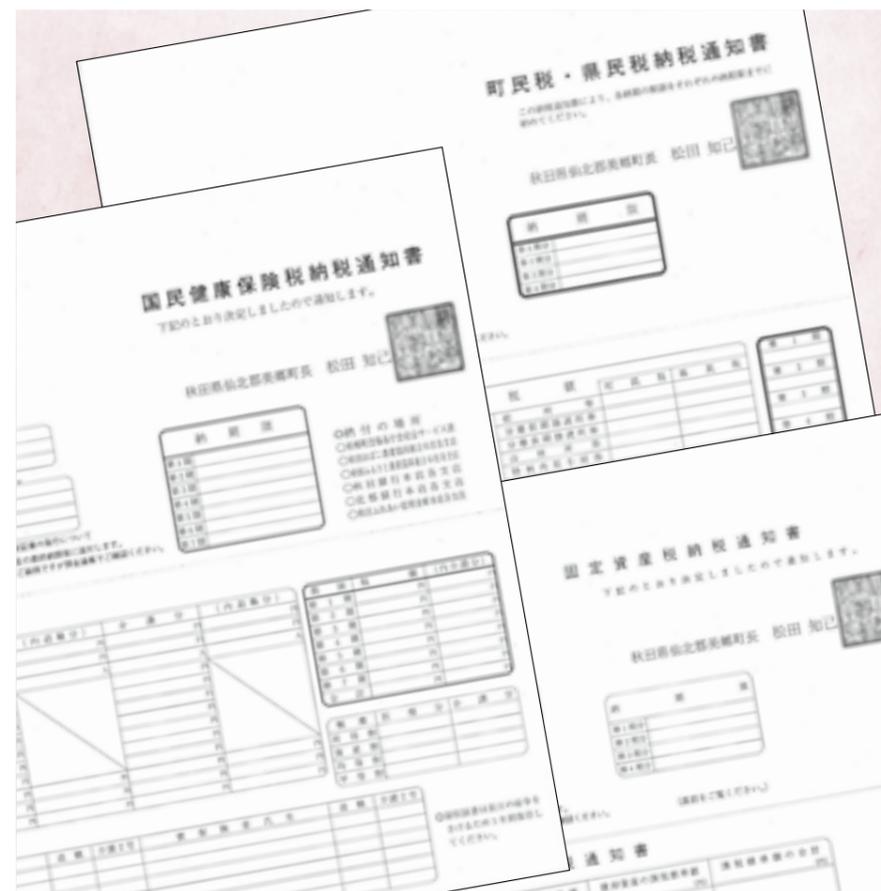
議員 幼稚園でのフッ素洗浄の対象は。また小学校での実施予定は。
幼児教育課長 年長クラスで実施しているが、申し出がある児童には実施していない。小学校では歯磨き指導を徹底している。

議員 団魂の世代が高齢化していくが、高齢者福祉についての考えは。
福祉保健課長 健康増進事業などで元気な高齢者を増やしていく。

議員 仙北組合病院早期改築推進会議とは何か。また、改築の話はどこまで進んでいるのか。
町長 早期改築に向けて支援する為の組織で、厚生連の方で所管省庁との協議に入っていると聞いている。

議員 ラベンダー祭りなど町開催のイベントを有料化し、自主財源を確保すべきだ。
商工観光課長 いろいろな視点から検討していきたい。

議員 町税や各利用料などの未納額の合計が1億9千200万となっているが、収納をどう進めるのか。
総務課長 総務課で、未納の状況を各課担当者から聞いている。今後、徴収チームを結成して徴収にあたりたい。
議員 差し押え、競売などの方法をとる市町村もある。美郷町ではどうするのか。
副町長 これまで法的措置のケースはなかったが、いずれは措置する方向で検討していく。
議員 税の申請減免の内容は適切か。
税務課長 納付しやすい方法を考えていきたい。
議員 保育園の延長保育、小学校の児童保育の待機者数は。また事業の拡充についての考えは。
幼児教育課長 保育園の待機者はいない。小学生については、同居している祖父母がいるなどの理由で断ったケースが7件ある。拡充は10月にアンケート調査をして検討していく。
議員 幼稚園でのフッ素洗浄の対象は。また小学校での実施予定は。
幼児教育課長 年長クラスで実施しているが、申し出がある児童には実施していない。小学校では歯磨き指導を徹底している。
議員 団魂の世代が高齢化していくが、高齢者福祉についての考えは。
福祉保健課長 健康増進事業などで元気な高齢者を増やしていく。
議員 仙北組合病院早期改築推進会議とは何か。また、改築の話はどこまで進んでいるのか。
町長 早期改築に向けて支援する為の組織で、厚生連の方で所管省庁との協議に入っていると聞いている。
議員 ラベンダー祭りなど町開催のイベントを有料化し、自主財源を確保すべきだ。
商工観光課長 いろいろな視点から検討していきたい。



その他の議案質疑

◆美郷町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について

議員 今後のゴミ減量化の計画は。
住民生活課長 5カ年で10%減量を図りたい。議員 減量化には分別収集が必要だが3地域で足並みがそろっていない。
住民生活課長 資源ゴミの集積は、3地域でまちまちだ。出来るだけ早い機会に一本化が必要と考える。

◆美郷町堆肥センター設置及び管理に関する条例の制定について

議員 新しい堆肥センターの規模と将来計画は。
農政課長 生産量は年間3千トンで、良質な製品を作り、それらを有効活用して「こだわり米」などブランド品目を販売していきたい。

一般会計補正予算

議員 防災行政無線設計委託料20万円の内訳は。
住民生活課長 防災行政無線をメインとした『災害に強い町づくり』事業を国に要望するための概算設計委託料だ。
議員 今回の債務負担行為の繰上げ償還によって、公債費比率はいくら下がるのか。
総務課長 目に見えるような数値にはならないが、

確実に残額は減っている。数値は徐々に下がるものと思う。基本的には、借金は増やさない方向で予算措置をしていきたい。

議員 町有林保育事業の規模と今後の計画は。

総務課長 国がおこなう里山エリア再生事業で仙北東森林組合が事業主体となっている。今回は、仏沢地区、湯尻地区合わせて32畝の管理を行い、5カ年計画だ。



総務常任委員会の町有林視察

提出議案一覧

- 認定第1号 平成18年度美郷町一般会計決算認定について
- 認定第2号 平成18年度美郷町国民健康保険特別会計決算認定について
- 認定第3号 平成18年度美郷町老人保健特別会計決算認定について
- 認定第4号 平成18年度美郷町簡易水道事業特別会計決算認定について
- 認定第5号 平成18年度美郷町下水道事業特別会計決算認定について
- 認定第6号 平成18年度美郷町農業集落排水事業特別会計決算認定について
- 議案第53号 美郷町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について
- 議案第54号 美郷町堆肥センター設置条例の一部改正について
- 議案第55号 美郷町堆肥センターの設置及び管理に関する条例の制定について
- 議案第56号 平成19年度美郷町一般会計補正予算第4号
- 議案第57号 平成19年度美郷町国民健康保険特別会計補正予算第1号
- 議案第58号 平成19年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算第2号
- 議案第59号 平成19年度美郷町下水道事業特別会計補正予算第2号
- 議案第60号 平成19年度美郷町農業集落排水事業特別会計補正予算第2号
- その他報告1件、発議2件

地下水と湧水の保全対策は 「水環境保全条例」を制定する

一般質問

3氏が登壇し 町政を質す

9月4日、町長の召集挨拶に続いて、地下水環境保全と自然観察学習、スポーツ施設の改良と管理運営、ごみ有料化と町内公共交通についての一般質問が行なわれました。

- 質問者
- 武藤 威 議員
 - 福田 守 議員
 - 吉野 久 議員



武藤威議員 湧水が、生活水だけでなく、環境面や観光面からも見直されている。

環境の変化が進み、地下水や湧水が減少し、その役目が危ぶまれている。

町民総参加により「地下水と湧水を保全する」条例を制定し、水資源を後世に保全すべきではないか。

町長 我が町の飲料水は、ほぼ地下水に頼っており、地下水を守ることが生活を守ることになる。水量と水質保全対策を進め、意識啓発活動と合わせ、全町民で保全に努めたい。

子供達に自然観察の機会を 体験活動を重視する

今年度中に仮称「水環境保全条例」を制定したい。

武藤威議員 地元の子供達に「自然観察から始まる自然保護」の学習機会が必要ではないか。

町長 小学生による、つくば市やかすみがうら市との交流を通し、ブナの森探検や、水質調査に参加すると共に、日常生活の中にも意識喚起を促し、自然保護意識を高めたい。



武藤 威 議員

水源の森を観察するつくば市の小学生



分別収集の徹底を 実態に合わせて模索する

今年度から冬期間も行う資源回収



吉野久議員 ごみ有料化の導入背景と目的は理解するが、減量化の本質は町民の減量意識の高揚だ。

全国では、徳島県上勝町のように住民との協働で34種類の分別収集に取り組む自治体もある。

①自然にやさしいまちを目指す美郷町だからこそ、有料化と併せて徹底した分別収集を望む。②

ごみ袋の有料化収入を、例えば子育て支援に充てるなど、町ならではの使用方法を検討すべきだ。

③不法投棄は、モラルの問題で有料化と次元を異にする。町が強化すべきは、環境保全への意識啓蒙ではないか。



吉野 久 議員

③確かにモラルの問題だが、不法投棄防止とごみの減量・資源化はともに環境保全に向けた取り組みだ。

町長 これまで、該当路線の利用状況調査を実施し、1回目の美郷町地域

スポーツ施設—安全整備を 迅速に対応する



六郷陸上競技場

福田守議員 町内のスポーツ施設の中で早期に点検、整備が必要な4つの施設について質問する。

雁の里山本公園多目的グラウンドだが雑草が生えてネズミ・モグラの穴が無数にある。サッカー練習をする子供たちがケガをする危険性が高いので改修できないか。

また、仙南カントリーパーク野球場は利用率が低い。多目的グラウンドに改修すべきと思う。

そして、六郷陸上競技場は、現在はスポーツの子供たちが利用しているようだが、ここもネズミ・モグラの穴があいて危険な箇所があり、元のような公認の陸上競技が出来るような施設に改修すべきと考える。

最後に大台野野球場は、野球競技にほとんど利用されず、ラベンダー

現在の使用を維持する観点から、改修は迅速に対応する。

また、多目的あるいは整備の拡充については、現在、公共施設のあり方について、スポーツ施設あるいはアウトドア施設も含めて検討している最中であり、その方向性が見定まってから検討する。

町長 管理の統一化については、利用者にとって分かりやすい体制にすることも施設をより生かしていくという意味で大切と思うので、今後検討する。

また、スポーツ施設の町民優先利用については、町外の利用頻度が高い

大台野広場では、今年度より町民利用について優先的な取り扱いをする旨の手引きを定め運用している。

他の施設については今のところ定めていないが、体育協会やスポーツとの連携を図りながら、町民利用が円滑になされるよう検討する。

いずれ、町民利用が優先と考えるが、町外利用によつて町のPRや活性化が図られる観点も大切なので、そうしたバランスに留意した運用に努める。



福田 守 議員

町民の優先利用を バランスに留意する

福田議員

町内のスポーツ施設の管理運営の担当部署が、ばらばらで利用する町民から、統一した窓口が利用しやすいといった声がある。

また、施設の利用は早期に申し込みが多く、町民大会や、住民の利用が出来なくなり日程の変更も多々あると聞くが町民優先利用という考えはないか。

公共交通内部検討会を行った。今月中に2回目を行うが、対応目的の明確化、対象者、既存車両の活用などを検討して早期に方針をまとめ、早ければ年内に着手したい。

交通空白地帯の解消を 早期に方針をまとめる

吉野議員

町内の公共交通は、羽後交通の高畑・荒川線9月末での廃止、湯ノ沢線・板見内線3月末での廃止検討など、空白地帯がさらに増加する非常に厳しい現状だ。

今年度行っている、地域公共交通会議の検討を早め、早急に対応すべき問題と考えるが、会議の進捗度と今後の対応を町長にうかがう。

また、既存の通園・通学バスをコミュニティバスとして利用できないか。既存施策の拡大利用による歳出削減効果とともに、情操教育にも役立つと考えるが、教育長の見解をうかがう。

町長 これまで、該当路線の利用状況調査を実施し、1回目の美郷町地域

通園・通学バスの相互利用による地域の方とのふれあいは、情操教育の一助ともなり学校と地域の一体化が進むと考える。

一方、安全確保の課題や停留所と距離、下校時間に対応した運行時刻などさまざまな問題も考えられる。現在進めている学校教育将来構想事業の一環として検討したい。

任期で改選した
新委員会構成

新たな気持ちで頑張ります

常任委員会

熊谷隆一 戸沢藤一 福田 守
議 員 議 員 議 員
泉 繁夫 鈴木良勝 飛澤龍右門 伊藤福章
議 員 副委員長 委員 長 議 長



常任委員 会生



高橋正治 武藤 威 吉野 久
議 員 議 員 議 員
齊藤新一郎 森元淑雄 深沢義一 高橋 猛
議 員 副委員長 委員 長 副 議 長

常任委員 会設

中村利昭 熊谷良夫 澁谷俊二
議 員 議 員 議 員
杉澤隆一 鈴木 一 中村美智男 戸澤 勉
議 員 副委員長 委員 長 議 員



委員 会運 会営



福田 守 杉澤隆一 澁谷俊二
議 員 議 員 議 員
高橋 猛 齊藤新一郎 戸沢藤一 伊藤福章
副 議 長 副委員長 委員 長 議 長

10月24(水)・25(木)・26日(金)

第2回

「住民と議会との懇談会」を開催

町内の9会場で皆さんをお待ちしています



日時	地区	会場	担当班
10月24日 (水) 午後7時～	千畑地区	美郷町ふれあいセンター	1班
		千畑交流センター	2班
		本堂自治会館	3班
10月25日 (木) 午後7時～	仙南地区	金沢コミュニティセンター	1班
		飯詰コミュニティセンター	2班
		後三年コミュニティセンター	3班
10月26日 (金) 午後7時～	六郷地区	六郷交流センター	1班
		六郷公民館	2班
		もとだて児童館	3班

班	1 班	2 班	3 班
出席議員	鈴木 一 福田 守 中村美智男 武藤 威 森元 淑雄 澁谷 俊二 飛澤 龍右門	杉澤 隆一 鈴木 良勝 中村 利昭 戸沢 藤一 齊藤新一郎 吉野 久 高橋 猛	熊谷 隆一 熊谷 良夫 泉 繁夫 深沢 義一 高橋 正治 戸澤 勉 伊藤 福章

合併した美郷町が、限りある財源の中でより良いまちづくりをおこなうためには、住民への広報・広聴が大切です。
また、住民代表の議会は、共通の認識で町づくりの課題や住民の声を把握していなければなりません。
昨年に引き続き、町議会議員が地域に向いて町政や議会活動の状況を説明し、町や議会に対する提言・意見や要望を直接お聞きする『住民と議会との懇談会』を、10月24・25・26日の3日間にわたり開催します。
昨年は、参加者が少ないながらも活発な意見交換がなされ、町づくりに反映された提言も多くありました。
町内9会場のどこでも参加は自由です。たくさんの方の皆さんの皆様のご来場をお待ちしております。

議会の動き

- 7月 31日 秋田県町村議会議員研修会
- 8月 20日 議会運営委員会 議会全員協議会
- 21日 総務常任委員会所管事務調査 議会運営委員会
- 27日 第6回議会定例会(～11日)
- 9月 4日 議会全員協議会
- 11日 議会全員協議会
- 27日 議会広報特別委員会
- 10月 3日 議会広報特別委員会
- 9日 議会広報特別委員会
- 11日 議会広報特別委員会視察研修会(～12日)

陳情・請願 採択しました

- 陳情第10号 「潮賦販売法の抜本的改正を求める陳情書」について 秋田県司法書士会 会長 鈴木敏夫
- 陳情第11号 「非核・平和自治体宣言」の採択を求める陳情書について 原水爆禁止秋田県協議会 理事長 斉藤重一
- 陳情第12号 公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する陳情について 秋田建設労働組合 組合長 伊藤和雄



キラリ美郷人 VOL.8

シリーズ

全国大会で 入賞したい

田澤 真明さん
(美郷町千畑在住)



国体競技を毎日観戦し、選手たちの、精一杯の姿を見ては感動をもらっています。
そして、大会実施に至るまでの関係者や、今汗を流している大会スタッフ・ボランティア、国体協力会の方々への感謝の気持ちと、半世紀に一度の祭典に私自身もかかわれた喜びを感じています。
さて、2年任期で交代した新広報委員会も、議会だよりを通じて、臨場感ある議会活動のお知らせに努めてまいります。

吉野 久

編集後記



議 会 特 別 委 員 会 報 告



熊谷隆一	戸澤 勉	熊谷良夫
委 員	委 員	委 員
鈴木良勝	高橋正治	吉野 久
委 員	副委員長	委 員 長
		伊藤福章
		議 長

次回定例会は、12月上旬の開会を予定しています。傍聴を、お待ちしております。

『秋田わか杉国体』…美郷町が熱く燃えあがった9日間でした。六郷高校3年の田澤真明さんは、地元開催の自転車競技に、ただ一人出場した町出身選手です。
田澤さんが自転車競技を志した理由は「スポーツ競技で全国大会へ出場したい」との思いからでした。この3年間、その目標に向かって、早朝5時からの練習や夕方暗くなるまでの練習を毎日続けてきました。また、レースが近づくと、肉や油を控えて炭水化物中心の食事に変えるなど、体調管理に細心の注意をはらってきました。

その努力が実り、国体強化選手として3月の沖縄県遠征に参加し、8月に行なわれた佐賀インターハイでは、見事4km速度競走での6位入賞を果たしました。
「1/1000秒を争うシビアな自転車競技の魅力は、レース後の達成感です」と語る田澤さんの『秋田わか杉国体』は、残念ながら実力を発揮できずに終了しました。しかし、「大学へ進学して自転車競技を続け、さらに強くなりた。そして、全国大会で入賞したい」との次なる抱負を、強く語ってくれました。